

# 10.19 → 10.21 秋季反戦闘争に総力決起しよう



80.10.18  
No. 560

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二五八〇九(公衆)四五三(22)七二〇七

## 運用合理化粉碎・軍事大国化阻止、813ミジェット決戦の一大高揚を

今秋季闘争は、三里塚闘争を基軸に軍事大国化を阻止し、今日国鉄当局が異常なまでの姿勢をもって強行しようとしている乗務員運用合理化攻撃と真向から対決し、動労「本部」反動分子と一体となった組織破壊攻撃を全力で粉碎する決定的に重要な闘いである。

さらに、この秋季闘争の圧倒的高揚をもって密集せる反動を突き破り、来年三月三里塚ジェット燃料貨車輸送延長阻止闘争の勝利の陣型をつくる重要な闘いでもある。

十月十五日開催された第一〇回支部代表者会議は、こうした闘いの意義と基本的立場を再確認し、乗務員運用合理化、10・19代々木公園への大結集、10・21国際反戦デーには、日比谷、本町公園とふたつの闘いに最大限結集する取組みを改めて意志統一した。

### 10・19 三里塚二期工事阻止東京総決起集会―代々木公園へ

政府・空港公団は、第四次空港整備計画にもとづき八一年三里塚二期工事着工と「五六・三」ジェット燃料貨車輸送延長の策動を強めている。かかる攻撃を真向うからうけとめ、反対同盟は全国の闘う労働者・人民に対し、十月総決起行動への結集を呼びかけている。

こうした情勢をうけとめ、動労千葉は、八〇年秋季反戦闘争の大高揚をもって「五六・三」ジェット燃料輸送延長策動阻止へ向けた闘いの最重要課題として三里塚を闘う全ての労働者・人民との支援・連帯を広く呼びかけ闘う陣型を強固に作り出していかねばならない。

今日、三里塚をめぐる情勢は、空港公団による成田用水、農業振興策を中心に、反対同盟の切り崩し、解体攻撃を押し進めてきている。

かかる切迫した情勢の中で、三里塚反対同盟の提唱する10・19代々木集会への大結集をかちとることこそ、われわれの果たすべきことであり、八一・三に向けた大衆的高揚をつくり出すものであることをはつきりと見すえなければならぬ。

### 10・21 国際反戦闘争

#### 日比谷12時、本町公園18時結集せよ

自民党・鈴木内閣の軍事大国化へ向けた極反動攻勢は、最早や一刻たりとも許せないものとなっている。憲法改悪、国防教育の充実化、自衛隊の海外派兵、核兵器の保有等々を公然と国会の場で発言し居直っている。こうした支配階級の凶暴な反動化・軍事大国化攻撃に対して社会党・共産党などの既成野党そして労働運動の闘いは、混迷と果てしない後退をつづけている。

かかる中で、三里塚を基軸に闘う労働運動こそが、こうした軍事大国化・反動化を阻止する闘い

であることも、鮮明となってきた。

動労千葉は、10・21国際反戦闘争の圧倒的高揚をつくり出し来年三月ジェット燃料輸送延長阻止闘争を勝利的に展開すべく、第一に、反対同盟をはじめとした三里塚を闘う労働組合、住民団体、文化・知識人等の多くの人士の呼びかけによる「10・21軍事大国化阻止・三里塚闘争勝利東京集会」へ積極的に参加する。第二に、県労連要請による護憲・反安保千葉県実行委主催の「10・21国際反戦デー千葉集会」の二大闘争に最大限結集をもって闘い抜くことを決定した。

県下労働者はもとより、全国の闘う人民との広範かつ重層的な支援連帯の環の拡大を、今秋闘争を期して再度つくり出してゆこうではないか。

全組合員は10・19代々木、10・21日比谷―本町公園に総結集せよ。

### 秋季闘争の成功をもって

#### 乗務員運用合理化阻止の闘いへ

今秋反戦闘争は、動労千葉にとって今加えられてきている運用合理化攻撃に対する一大突破口となることは必然である。

十年有余にわたって、血と汗の中で築き上げてきた労働条件を全く下部討議すら行なわず、認めるといふ裏切り行為を平然と行なった動労東京、さらにそのことを国鉄当局一体となって動労千葉に強要し、組織破壊を行うという犯罪性を断じて許してはならない。

動労「本部」土屋一派はこのことに何と答えるのか。斉藤(吉)らは「津田沼の運用合理化卒先協力派」の本性を表わした。いかに戦闘的・階級的といいつつ、平気で仲間を裏切り、自ら当局の軍門に下る動労「本部」とは一体労働組合なのか。われわれは、運用合理化絶対反対をかけた、具体的には攻撃の視点を全体のものとし、一丸となつて闘い抜いてゆかなければならぬ。